

各 位

2014年10月16日

ダイビル株式会社

「中之島 四季の丘・ダイビル本館」

第13回 屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール

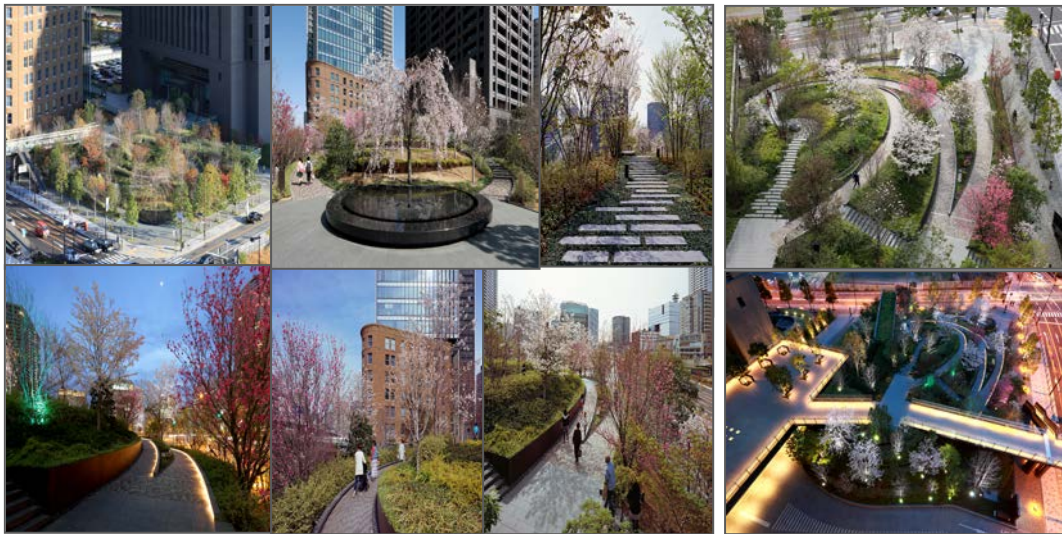
「屋上緑化部門 日本経済新聞社賞」を受賞

このたび、「中之島 四季の丘・ダイビル本館」が第13回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール（主催：公益財団法人都市緑化機構）におきまして「屋上緑化部門 日本経済新聞社賞」を受賞しました。

「中之島 四季の丘」はダイビル株式会社と関電不動産株式会社が共同で整備したものです。

受賞理由（審査講評より）

本作品は都市的な立体構造物を視覚的に大地と融合させ、堂島川という当該エリアでは貴重な市民の憩い・賑わい空間との連続性を確保するための工夫がなされており高く評価された。



中之島 四季の丘

■ 「中之島 四季の丘」の特徴的な緑化技術

1. 地下に都市施設を内包する緑量感のある緑の創出
地下に駐車場と地域への熱供給施設を内包した人工地盤に軽量盛土材を積載し、川側にゆるやかに傾斜する「自然な丘陵状」を形成し、船上や対岸からの眺めを意識した緑地を創出しています。
2. 河岸の緑と一体となった四季感あふれる丘
河岸沿いの花木類との連続性を意識し、春の花木を中心に植栽することで、中之島に華やかに春を告げる「花の丘」を創出しています。

3. 緑を引き立たせる都市的なランドスケープデザイン

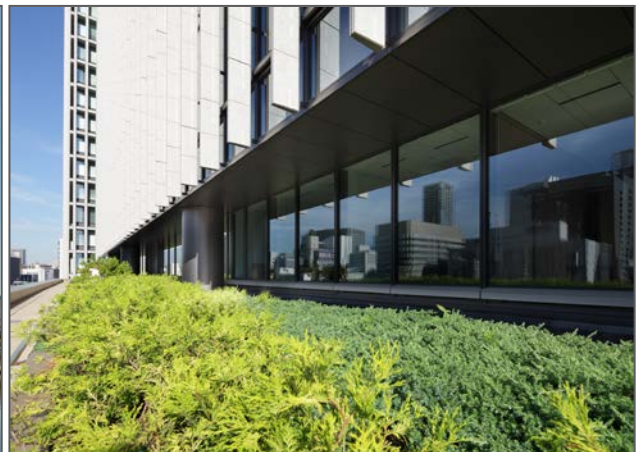
「自然な丘陵状」にこだわる一方、堂島川への方向性を感じさせる煉瓦敷きのスロープや、コールテン鋼ウォール、ベンチと一体となった鏡池などが緑を引き立たせる都市的なランドスケープデザインを演出しています。

■「中之島 四季の丘」の特色

- (1) 四季折々の自然を感じられるよう、「中之島 四季の丘」にはウメ・サクラ・ヤマボウシ・モミジなど多様な樹木や地被類を植えています。地盤を丘陵状とし、樹木の足元を地被類で覆うことで、緑地として一体感のある計画としました。
- (2) 丘には煉瓦敷きの遊歩道を設けており、頂上部まで散策することも可能です。丘の頂上部は、「ダイビル本館」「関電ビルディング」へ繋がるデッキおよび堂島川の遊歩道へ繋がる歩行者用ブリッジに接続しており、将来は大阪市による近代美術館の整備が計画されている中之島 4 丁目とも歩行者用ブリッジで繋がる予定です。これにより、中之島地域の回遊性が増すとともに、歩車分離が図られ、歩行者の安全性の向上にも寄与します。
- (3) 多くの実をつける花木を中心とした丘は、野鳥や蝶・蜂などの昆虫類を呼び込む生物にとってもやさしい丘を形成しています。また、スロープ沿いにミスト装置（夏期のみ運用）を設置することで、大阪湾から吹く涼風を街区内に引き込むクールスポットを創出し、都市のヒートアイランド抑制に寄与する緑地を形成しました。



堂島川からダイビル本館を望む



ダイビル本館 7F 屋上より東側を望む

■「ダイビル本館」の特色

旧ビルの意匠を継承した低層部と高層オフィス部とのギャップ部にあたる 7F 屋上部分を積極的に緑化しました。耐風性能に十分配慮した緑化により、室内からの彩りと共に都市のヒートアイランド抑制に寄与する緑を創出しました。

以 上